

# よらねかた 小合

## 地域の人口動態

平成28年6月末現在

世帯数	1,231 戸
男	1,871 名
女	1,987 名
人口	3,858 名

2016. 8. 10 第48号 小合地域コミュニティ協議会

発行責任者：四柳健二 編集：総務部



国道460号線 新津方面から見た吉田千秋生家

### 今号の主な内容

シリーズ・おらの地域紹介 (梅ノ木) 2面

新「新潟市消防局」視察研修 2面

「福祉お役立ち講座 (歯と口の健康)」 3面

## 連載：小合の歴史研究

### 第六回

## 「吉田千秋」の魅力に迫る【I】

今回は郷土の誇り「吉田千秋の魅力とは何か」を調べます

私たちの住む小合の歴史を調べなおして偉大な業績や、ふるさとの誇り、宝物を再発見してみましよう。



平成7年(一九九五年)に、往年のヒット曲である「琵琶湖周航の歌」の元となった曲を作った人物が、大鹿出身の吉田千秋であることがわかった。なんと千秋が曲を出してから80年、24歳で世界してから76年もの歳月が過ぎていた。この時から吉田千秋はクロスアップされ多くの方々千秋の足跡を調査されている。

千秋が作った「ひつじぐさ」という曲がこの原曲であった。

#### 【一】おいたち

当シリーズで初回に取り上げた安田町うまれで歴史地理学者の「吉田東伍」と大鹿の吉田家のカツミとの間に生まれた二男で、明治28年(一九〇五年)2月18日に誕生した純粋な小合生まれである。

父が東京で暮らしていた事から最初は東京の牛込区赤城尋常小学校に入学するが、病弱(小児性肺結核を病んでいた)ことから、すぐに大鹿の祖父母のもとに帰った。そして当時の小合村の小鹿尋常小学校(小合東小の前身)に転校した。その後、また新津から東京の学校に転校して上の学校に進み、明治45年には私立東京農業大学へ入学しているが、肺結核が次第に悪化し、大学は中退している。

#### 【二】好奇心・努力家

病気にめげず、小さいころからさまざまなことに関心を持ち積極的にチャレンジしている。小学校

#### 【三】「ひつじぐさ」について

6年の時に「SHONEN」という手作りの個人雑誌を創刊しており、小学校から中学校にかけての時代に二〇五回も発刊していることが分かっている。授業から解放された時間を使い、自分が興味を持ち研究した絵(列車や船などの乗り物、外国の建物、楽器、気象、星座、地図など、他多くのもの)に筆を走らせていた。自分の習得した知識をきつちりと記録することは父、吉田東伍の血を受け継いだものなのか、敬服するものである。

曲の調子はマイナーであり、ゆつたりとして親しみのある曲がその歌詞を溶け込ませる。今から約一〇〇年前の大正4年(一九一五年)に千秋は「ひつじぐさ」を「音楽界」という雑誌に投稿する。この約2年後に、旧三高(現在の京都大学)ポト部のメンバーが当時、流行していた「ひつじぐさ」のメロディに当てて寮歌を唄う。ラジオも無い時代なのに巷に「ひつじぐさ」が流行していた事はすばらしいことだ。曲が楽譜として発表され又、残された事で、世間に浸透し、親しみやすさから唄われ、後に大ヒットしたことは、納得できる。

#### 【参考引用文献】

「琵琶湖周航の歌」小口太郎と吉田千秋の青春

：著者・飯田 忠義

【協力】ちあきの会

研究責任者、小合コミ協総務部

# シリーズ おらの地域紹介

小合に十四ある各自治会／各町内会から御協力をいただき、各地域を短く紹介して行きます。

## 地域紹介その⑬

### 「梅ノ木」自治会

梅ノ木は、小合地域の南方に位置し、63世帯242人(6月現在)が生活しております。

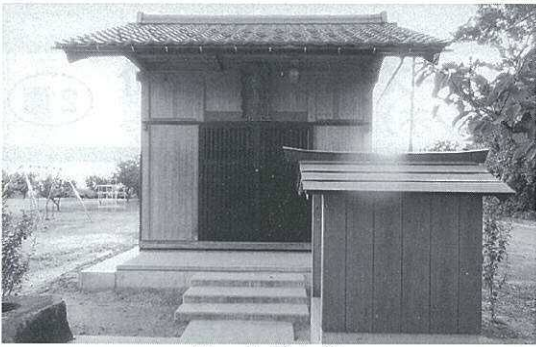
新津市史によれば、「元和6年(1620)に本村の開拓と伝えられる」とのこと、およそ四百年の歴史があります。

また、かつては小学校のあった地でもあり、明治6年に萩島校付属梅ノ木分校として創立した学校は、梅ノ木尋常小学校に改称後、昭和22年に小合南小学校となり、昭和40年に小合西小と統合して小合小創立となるまで学舎として活躍しました。今は、この地の一角に梅ノ木観音堂があります。以前本誌にも聖観音と言われる木造の観音様が紹介されましたが、御堂の経年による老朽化と危険でもあるとのことで、立派な新しい観音堂が再建されました。もう一つ、8月の秋季祭礼と、田植えの終わった5月下旬の青田祭りには梅ノ木神楽舞い

が行われています。正確な年代は不明ですが、創始は二百年以上前とも言われており、戦時中も中断することなく今日に及んでいます。

誌面の都合上、大変簡素ですが、こうした地域の方々が築いてこられた梅ノ木の歴史、文化、そして梅ノ木の良さを守り、しっかりと引き継いでいく責務と重要性を改めて感じています。

【総務部】F(梅ノ木・記)



梅ノ木観音堂

# 新潟市消防局視察研修

平成28年6月27日(月) 主催：防災環境部

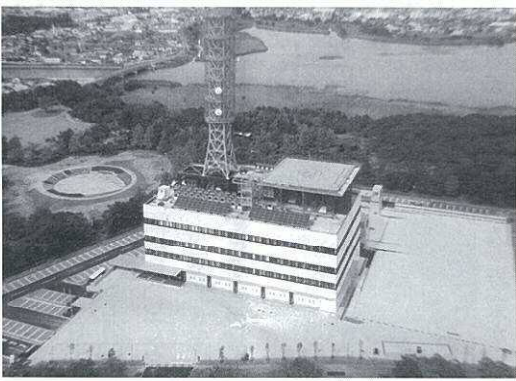
新潟市中央区東大畑通りにありました新潟市消防局は、昨年の十二月に、新潟市民病院近くの中央区鐘木(しゆもく)に新庁舎を建て、移転しました。

コミ協の環境防災部が主催で参加者十三名、マイクロバスを利用し、新潟市消防局の新庁舎を視察して来ました。

消防局の庁舎は五階建てで、新潟市中央消防署と併設されています。上階には消防局の事務室や、新潟市全体の火災や救急を管制する「消防指令管制センター」がありここでは、二十四時間体制で新潟市内の各消防の管制を行っています。

### 【主な施設の特徴】

一、消防指令管制センター  
部屋全体に管制モニターがずらりと並び、電話、無線、放送などの受送信設備により常に監視員が待機して対応します。新潟市内の各消防署にある消防車や救急車の出勤台数を把握でき、火災などの発生時には素早く各地消防署の監視カメラで発生場所と状況が確認ができます。



二、消防隊員の仮眠室  
上階の仮眠室からスベリ棒を伝って出動する光景を想像しますが、現在、この消防署では仮眠室は1階にあり素早く対応します。

三、作戦本部室  
4階には作戦本部室があり、災害発生時には、この本部に情報を集め、ここから指示を出します。

他、庁舎内には、事務室や会議室、又、防火体験施設や消防訓練などを備えています。建物全体は、基礎免震構造になっています。

## 専門部の活動から

### 小合地区親善

## バレーボール大会

平成28年6月19日(日)

コミ協のソフトバレー大会を開始してから今年で十一年目を迎えます。

暑い日ではありましたが、朝から熱戦が繰り広げられ、新しいメンバーを加えてチームワークが良い「小戸下組Aチーム」が初優勝しました。参加された皆さんお疲れ様でした。

### 【試合結果】

- 優勝：小戸下組A
- 第2位：サンクス
- 第3位：マロンA
- 第4位：大鹿1



ソフトバレーボール表彰式

# 福祉お役立ち講座【歯とお口の健康講座】開催

主催：福祉厚生部 平成28年7月16日(土) 場所：コミュニティセンター大ホール  
講師：秋葉区役所健康福祉課 関谷 恵様・歯科衛生士 小松 純子様

## かんで！・かんで！ 健康維持・メタボ予防 にも

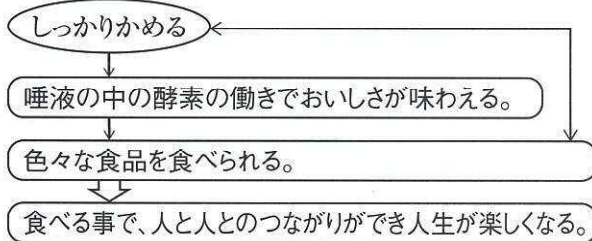
「8020運動」(ハチマルニイマル運動)という言葉を知っていますか。これは「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動です。日本人の平均寿命は高くなりましたが、健康寿命とよばれる介護が必要でない年齢は、平均寿命よりも10歳くらい短くなっています。

今、「健康寿命を延ばそう」と言ういろいろな活動が行われています。人は年を重ねるごとに歯も衰えますが、出来るだけ長く自分の歯を健康に維持することにより、健康寿命を延ばすことに繋がります。

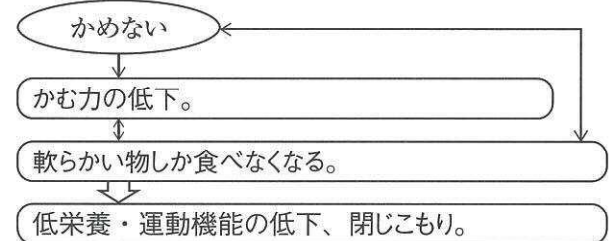
80歳で20本以上の自分の歯を持つことが理想。もし、歯を失ったとしても入れ歯などの処置で、かめる環境を保つことが大切です。しかし出来れば入れ歯でなく自分の歯でかみたいものです。

### 1) かむことの大切さ

しっかりかめると生活の質が高まる



かめないと、生活の質が低下する



### 2) 歯が抜けてしまう原因

ムシ歯か、歯周病が、歯が抜けてしまう原因です。(歯周病は昔、歯槽膿漏といわれた)

最近では歯周病が、歯を失う主な原因になった。

歯に付いたプラーク(食べかす)が歯周病の原因になる。

### 3) 歯周病の予防

ハミガキ、と定期的な歯の検診です。(痛くなくても、定期的に歯医者さんへ行く)

※今回の講話では、歯とお口の健康について 沢山のお話を聴くことが、できました。

#### 【まとめ】

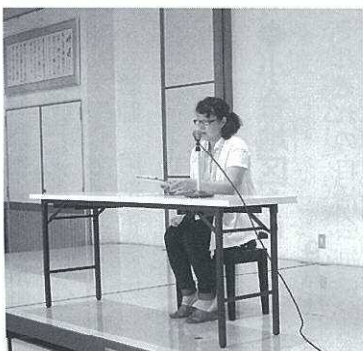
- ①自分の歯を長く維持するために、歯周病対策を実施する。
- ②かむことの大切さを理解し、実践する。
- ③口の中の細菌を減らす。

## 福祉お役立ち講座 【第2部】

小合駐在さんの「安全講話」  
今回のお役立ち講座、第2部は、3月から、前駐在所長の服部さんに変更して、新しく小合駐在所に勤務されている齋藤貴史さんから交通安全や防犯のお話をいただきました。



熱心に健康講座を聴く参加者



朗読 広瀬さん



お話の玉手箱 井浦さん

「絵本あそび」と「朗読」  
お話の玉手箱のみなさん  
最後に、「お話の玉手箱」(小合地区の読み聞かせグループです)の井浦京子さんが、折り紙による手作り絵本の作り方と絵本あそびを教えてくださいました。  
最後に「おもいでのもも畑」という物語の朗読をしていただき、皆でじっくりと聞き入っていました。朗読は、広瀬サチ子さんにお願いました。お話の玉手箱のみなさんありがとうございました。

★お知らせ★

小合地域の安心・安全を守る  
小合駐在さんが着任されましたのでお知らせいたします。

よろしく願います。

秋葉警察署地域課

小合駐在所長 齋藤 貴史様



初めまして、齋藤貴史（サイトウタカフミ）です。今年の3月25日付けで、前任者の服部所長から引き継ぎを受け、小合駐在所に配置となりました。

7月3日開催  
コミ協文化教養部

第5回

『寄せ植え教室』  
作品



寄せ植え(夏Ver.)

【自己紹介】

前任地は、高速道路を管轄とする高速道路交通警察隊です。高速道路交通警察隊は、長岡分駐隊と上越分駐隊で、通算4年間勤務しました。出身地は新潟市です。家族は、妻と、生後10ヶ月の長女、そして生後30年の私の3人です。現在、家族全員駐在所で暮らしております。

所在地は出戸ですが、私は「下戸」でお酒はまったく飲めません。常にシラフです。よって意見要望は確実に持ち帰りますので、懇親会等では、この点をご理解いただきたいと思えます。

【小合に着任して】

「伊勢志摩サミット」の警備のため、5月中は駐在所を不在にしておりました。

一部では「駐在所が廃止されるのではないか？」とのうわさが流れていたようですが、そのような予定はありませんので、ご安心下さい。着任から4ヶ月が経ちますが、新たな仕事、地域、人など、全てが新鮮に感じます。

以前の勤務地では、交通事故を重点に活動していましたが、

今は駐在所ということで、管内住民のみならずとふれあいを大事にして、交通安全教室等の、各種講話、自治会行事などを通じて、地域に溶け込んだ活動をしていきます。

【お願い】

警察活動の中で、住民のみなさま、地域役員の方々、各自治会の自治会長さんからも、お力を借りすることもありますが、その際はご協力をお願いします。

終わりになりましたが、今後、微力ながら小合地域のために活動をしていきますので、よろしく願います。

そして、私の姿を目にしたら遠慮なく声をお掛けください。



あるんだと小合  
(予告篇)

「親も子もハッピーになる子育て」  
心理学からのヒント

9月7日(水)より7時から

会場：小合中学校

講師 新潟青陵大学教授

碓井 真史 先生  
主催 小合育成会

小合ブロック青少年育成会では、新潟青陵大学教授の碓井先生をお迎えして今年の小合地域懇談会を開催します。

碓井先生は、スクールカウンセラーとして、テレビやラジオなどへの出演も豊富です。

大勢の方の参加をお願いします。

※参加の問い合わせは小合中学校の相馬教頭まで。

(二一〇四九二)

◆新津松坂流しに参加

8月16日午後7時

新津本町目抜き通り

小合コミ協で、例年通り新津松坂流しに参加します。

みなさん是非見に来て、応援して下さい。尚、雨天の場合は翌17日に順延となります。



(総務部)

◆文化講演会 演題

『今こを豊かに生きる』

9月4日(日)11時

講師 阿部 正機氏

会場：観音寺住職

会場：コミセン集会所

(文化教養部)

◆小合地区クリーン作戦

9月18日(日)

それぞれの自治会毎に、秋のクリーン作戦を行います。(詳細については後日、回覧します)

◆小合地区自主防災訓練

11月6日(日)

今年も小合地区二斉に自主防災訓練を行います。(詳細については後日、各自治会を通じて連絡します)

◆コミセン利用団体発表会

11月19日(土)

小合コミセンを利用していただいている方々の「発表会」を開催します。歌ありおどりあり、是非参加願います。

(詳細については後日、連絡します。)

●お問い合わせは、コミ協事務局 (210)2209 まで。

◆編集後記

小合コミ協は来年、二十周年を迎えます。これからいろいろと準備が始まります。

土用の丑の日を迎えて、急に暑さの本番を迎えたようです。

皆様、これからも暑さが続きますので、くれぐれもご自愛ください。(I)